

コスモス概要

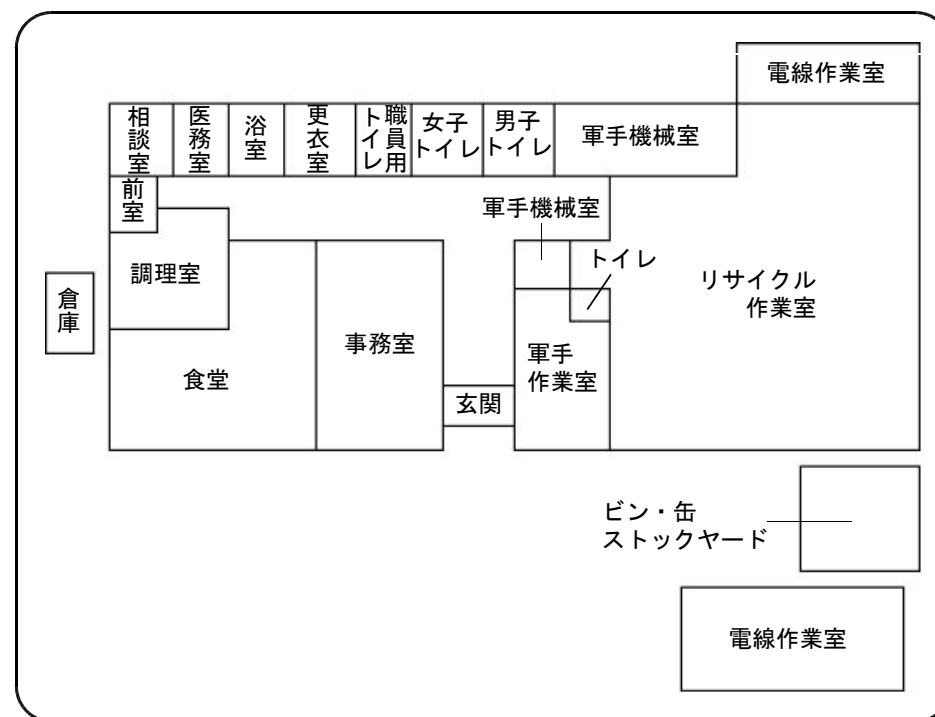
【沿革】

- 昭和57年5月 愛知肢体障害者団体「こぶしの会」内に、在宅障害者を中心とした「作業所検討委員会」発足。
- 昭和59年5月 「一宮市に共同作業所を作る会」結成、バザー・廃品回収・募金活動始まる。
- 昭和59年9月 一宮市今伊勢町に小規模施設「一宮明日香作業所」（利用者6名）開設。
- 昭和60年10月 一宮市大宮に「障害者の働く店あすか」開設。
- 平成元年9月 社会福祉法人コスモス福祉会を設立。
- 平成2年3月 「一宮明日香作業所」「障害者の働く店あすか」（利用者18名）閉鎖。
- 平成2年4月 「身体障害者通所授産施設コスモス」（利用者20名）開設。
- 平成8年4月 利用定員23名に増員。
- 平成10年4月 リサイクル・電線作業室増築。
- 平成15年4月 利用定員28名に増員。
- 平成16年4月 千秋リサイクルセンター開設。
- 平成18年3月 ビン・缶ストックヤード建設。
- 平成18年4月 利用定員33名に増員。
- 平成20年4月 「障害福祉サービス事業所コスモス（多機能型）」定員35名に移行。（生活介護、就労継続支援B型、就労移行支援）
千秋PSリサイクルセンター開設。
電線作業室建て替え。
- 平成21年5月 千秋PSリサイクルセンターを大和町妙興寺に移設。名称をPSリサイクルセンターとする。
- 平成25年4月 利用定員40名に増員。
- 平成26年4月 PSリサイクルセンターを一宮地方総合卸売市場内に移設。
- 平成26年12月 事業内容の変更。（生活介護、就労継続支援B型）

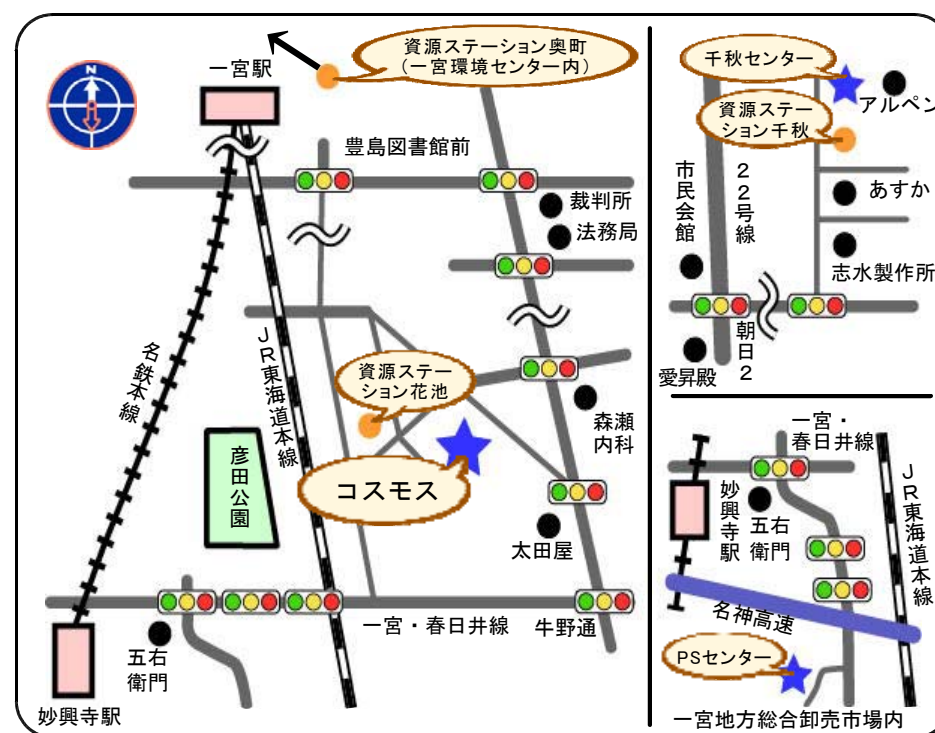
【施設概要】

- | | |
|-------------|--|
| 1 施設の種類 | 障害福祉サービス事業所 |
| 2 施設の目的 | 障害者で雇用させることの困難な者または生活に困窮する者を通所させて、必要な訓練を行い、かつ、職業を与え、自立を促進することを目的とする。 |
| 3 名称 | コスモス |
| 4 所在地 | 一宮市大和町宮地花池字中道5番地2 |
| 5 設置経営 | 社会福祉法人コスモス福祉会 |
| 6 施設規模 | 敷地面積 1,815.18㎡ 借地（一宮市）
建物面積 962.74㎡
構造 鉄骨造 平屋建（一部2階建） |
| 7 利用定員（事業別） | 生活介護 23名
就労継続支援B型 17名 |
| 8 職員数 | 施設長 1名 生活支援員 7名
作業支援員 8名 運転手 5名
調理員 1名 |

【施設平面図】



【施設案内図】



【施設の運営方針】

- 働く意志のある障害者を可能な限り受け入れていきます。
- 利用者のもてる能力を可能な限り引き出し、経済的に自立できる賃金を目指して産業事業を行います。
- 授産事業（仕事）を通じ、集団の中での社会性、協調性を身につけるとともに豊かな人間性の形成を目指していきます。
- 利用者が地域の中で自立した生活ができるよう、その実現に向けて訓練、援助を行います。
- 利用者、家族、職員が一体となって施設の充実・発展に努めていきます。
- 地域の方々と積極的に連帯し、地域に関かれ、地域とともに発展していく施設を目指します。

たくましく生きる力を！！

社会福祉法人コスモス福祉会

障害福祉サービス事業所

コスモス

- ・生活介護事業
- ・就労継続支援B型事業

法人本部事務所



〒491-0847

一宮市大和町宮地花池字中道5番地2

TEL (0586) 73-0748

FAX (0586) 73-0788

E-mail cosmos-swc@air.ocn.ne.jp

URL http://www.cosmos-w.com

千秋リサイクルセンター
一宮市千秋町一色字東出16番地

PSリサイクルセンター
一宮市大和町氏永仲林140-1
一宮地方総合卸売市場内

一人一人が社会の一員として責任をもって仕事をしています

コスモスは、障害を持った人たちが、仕事を通して働くことの喜びや生きがい、やりがいを感じて社会参加や経済的自立を目指して活動をしている施設です。

現在、5つの班に分かれて作業をしています。各班それぞれが目標をたて、それに向かってみんなで協力し合い、意欲的に作業に取り組んでいます。

また、毎週土、日曜日に一宮市内の3ヶ所で行っている資源ステーション（資源ゴミ回収拠点）や、年に1回秋に開催する、コスモス福祉会主催のコスモス祭りなどへの参加を通して、多くの地域の人たちとの交流をより一層深めています。

【電線班】

電線班では、銅のリサイクル作業を行っています。主に電気工事店から廃電線を回収して、選別します。太い電線は皮むき機を通して切れ目を入れ、手で剥き銅を取り出します。細い電線は細かく粉碎し、機械で銅と不純物を選別します。そして、業者に納品します。銅は電線等の材料として利用されます。また、給湯器の解体作業も行っています。中身を全て取り出し、部品の種類や材質ごとに細かく選別して出荷しています。



【リサイクル班】

リサイクル作業は、コスモス開所以来「資源のリサイクル」という社会的にも大きな意義のある仕事でもあり、施設の中心事業として位置づけて取り組んでいます。排出業者から回収してきた空缶・空ビン等の廃棄物を独自のリサイクルシステムで選別・圧縮作業を行い資源業者に納品しています。また、産業廃棄物の収集運搬業・中間処理業の許可を取得し、めまぐるしい環境行政に適應するため、適切な処理を心がけ頑張っています。



【軍手班】

軍手作業は、地元の繊維関係の工場から出たいらなくなった残糸を使用して機械で編んでおり、出来あがった物を検品→糸切り→エルダー→結束→袋入れの順に作業をしています。また、軍手以外にかやおりふきん等の自主製品を製作したり、パソコンで名刺の印刷やホームページの管理等の作業も行っています。出来上がった軍手・自主製品は企業又は個人向けに販売したり、景品や粗品として販売しています。



【千秋センター班】

千秋センター班ではPETボトルリサイクルの中間処理を行っており、一宮市から委託されたPETボトルの圧縮作業と自主回収したPETボトルの圧縮・粉碎作業に取り組んでいます。作業内容はPETボトル以外の不純物を選別作業で取り除き、機械で圧縮・粉碎します。その後、一宮市委託分の製品はPETボトル協会に納品して国内でリサイクルされます。自主回収分の製品は売却し、その後海外や国内でリサイクルされます。



【PSセンター班】

PSは、ポリスチレンの略で、いわゆる発砲スチロールのことをいいます。主にスーパーが流通時に用いる梱包用の発砲容器や、店頭回収される食品トレーを自主回収しています。回収してきた発砲スチロールは、種類や色別に選別して、機械を通して細かく粉碎し、熱を通してペレット（米粒状の固形物）にして業者に納品します。納品されたものは主に建設材料として使用されます。



【日課】

月曜日～金曜日	～ 9:30	作業準備
	9:30～12:00	作業
	12:00～13:00	昼食
	13:00～14:30	作業
	14:30～15:00	休憩
	15:00～16:30	作業
	16:30～	掃除・退所
土曜日(第1・3)	9:30～11:30	作業
土・日曜日 (資源回収拠点管理3ヶ所)	9:00～15:00	

【資源回収拠点管理】

ステーションでは、ゴミの減量、資源のリサイクルを目的として、市民の皆さんが資源を持ち込む回収拠点（一宮市大和町・千秋町・環境センター）3ヶ所の管理業務を、一宮市環境事業所より委託され、毎週土、日曜日にコスモスの利用者と職員等で行っています。



【仲間の会】

仲間の会は、毎年度5名の役員（会長・副会長・会計・書記・物品販売）が利用者から選出されます。主に、バーベキューやグループ行動などの行事の立案・実施をしています。また、それにとまなう運営資金をまかなうために、物品販売の注文や、コスモス祭りに出店をしています。

